

一般社団法人 日本ファミリーホーム協議会

令和元年度 事業報告書



Japan
Familyhome
Association

～令和元年度 事業総括～

日本ファミリーホーム協議会 会長 北川 聡子

令和元年度は、5月20日の定期総会から本格的な活動を開始いたしました。この度、今年度の総会の議決により、卜藏前会長の後任として、日本ファミリーホーム協議会会長の就任いたしました。前任の卜藏さんは、10年という長い間、協議会の会長をされ、子どもたち、そしてファミリーホームのためにご尽力されました。この思いを大切にしつつ、ファミリーホームの新しい未来に向かって、新しい役員で力を合わせて、模索しつつ歩んだ一年でした。2月以降新型コロナウイルスの対応等で各ファミリーホームも大変な中、精一杯子どもたちの養育に頑張っていると思います。協議会も全国各地の役員の方々の集まりがだんだんと困難になる中で、WEB会議を駆使して会議を開催しました。

(1)新年度役員

〈本部理事〉

	氏名	ホーム名	ブロック
会長	北川 聡子	社会福祉法人 麦の子会 ベーターホーム	北海道
副会長	宮本 昇	ファミリーホームひまわり	関東甲信越
副会長	伊藤 貴啓	名古屋芸術大学教授	東海北陸静岡
副会長 (会計責任者)	前川 知洋	ファミリーホーム上野	関東甲信越
副会長 (会計補佐)	山崎 浩	山崎ホーム	九州
本部理事	坂本 和弘	ファミリーホーム Our-house	中国四国
本部理事	仁井田 三枝子	ファミリーホームいぶき	東北
事務局長	小松 拓海	ワンズハウス	近畿
事務局次長	元藤 透	元藤ホーム	近畿
書記	若狭 佐和子	陽気ぐらしの家 わかさ	関東甲信越

<監事>

	氏名	ホーム名	ブロック
監事	大柳 弘幸	大柳ホーム	九州
監事	北川 をさみ	ゆんたくホーム	近畿

<ブロック理事>

ブロック	氏名	ホーム名
北海道ブロック	中兼 正次	ファミリーホームフリフリ
	竹内 透	ガブリエルホーム
東北ブロック	幕田 好三	ファミリーホームとくら
関東甲信越 ブロック	石川 浩子	はなの家
	菊地 隆	こころの家
東海北陸静岡 ブロック	杉山 裕	グレースガーデン
	杉山 英子	ファミリーホーム杉山
近畿ブロック	橋本 直之	みんなのあみさか OYASATO ホーム
	野口 婦美子	野口ホーム
中国四国ブロック	安東 秀子	ファミリーホームきぼう
	合田 光映	ファミリーホームあいの
九州ブロック	牧山 勇人	まきやまホーム
	冨永 正輝	ファミリーホーム冨永さんち
沖縄ブロック	神谷 眞行	みんなの家
	仲松 美智子	仲松ホーム

(2) ソーシャルアクション・子ども家庭局への要望書

6月27日、会員のアンケート調査の回答をもとに厚労省家庭福祉課に以下の11項目の要望書を提出してきました。①子ども4人の措置であっても、運営できるようにしていただきたい。②ファミリーホームも里親支援機関の対象としていただきたい③障がい児受入れ加算について④ファミリーホームの子どもの保育所の利用⑤ファミリーホームでの特別児童扶養手当を支給⑥高校生の措置費充実について⑦措置延長期間は20歳の年度末までに⑧措置延長終了後の事業で22歳までの医療費支給について⑨ファミリーホーム養育者への支援・レスパイトについて⑩ファミリーホームにかかる修繕費の支弁について⑪養育補助者の勤務経験を養育者の要件として認めることについて

①に置きますは、平成30年に、5人以下の保護単価が設定されましたが、毎年委託児童数が定員を割った時の経営の安定と、より一層の家庭養護の推進のための要望を引き続き要望いたしました。③と⑤に関しては、ファミリーホームでの障害児の受け入れが多くなっている中、家庭養護であるファミリーホームに対して、里親と同じように特別扶養手当の支給や障害のある子どもに対する加算をお願いし、より手厚い養育ができるように要望いたしました。このことに関しては子ども家庭局だけではなく、障害福祉課にもかかわることなので、課を超えた連携が必要で今後の課題となっています。②⑨ファミリーホームへの里親機関の支援は自治体によって違うため国として考えていただきたいと思っています。前向きに検討する方向です。また児童家庭支援センターとの連携の中、レスパイトができるよう一層の充実が求められます。⑥⑦⑧の高校生以上の子どもへの対応として、交通費や学習塾の費用などの改善、4月からの高等教育無償化で社会的養護の子どもたちの大学や専門学校への進学が今までと比べてしやすくなっています。また社会的養護自立支援事業によって22歳まで補助金が支出されますが、金額や保険などまだまだ課題はいくつもありますので、同じ社会的養護の子どものための他団体とも連動しながら進めていく必要があると思います。

⑩は、ファミリーホームで年齢の高い子どもが増え、困り感の高い子どもが増えている中で、行動化によって家の修繕が必要に立ってきているホームも増えています。保険での対応ができないため修繕費である事務費の支弁を要望しました。

この一年間も、家庭福祉課の成松課長さんが役員会に来てくださったり、事あるごとにファミリーホームの現状をお伝えしています。

ファミリーホームの制度も創設されて11年が経過し、今後ファミリーホームの在り方を模索する時期に来ています。厚労省としても家庭養護推進の立場で今後ファミリーホームの在り方を示す可能性もあります。そのうえで協議会として現場の意見を踏まえてファミリーホームのあるべき姿を模索するための検討会を開催いたしました。様々な意見や思いがあり活発に意見交換をし、検討会では、子どもにとって手厚い関わりができるように、また経営が安定し安心して養育ができるようにという視点、地域の子育てのニーズに答えていけるファミリーホームはいかにあるべきかということを中心に論議してまいりました。今後のファミリーホームの在り方、予算要求や制度改善に向けて、会員の皆さんの意見を是非お寄せください。また厚労省だけではなく、役員の方々が役割分担しながら、社会保障審議会児童部会社会的養育専門委員会、超党派「児童虐待から子どもを守る議員の会」自由民主党「児童の養護と未来を考える議員連盟」子ども家庭

養育推進官民協議会、全国退所児童等支援事業連絡会などに役員が分担して参加し、積極的に子どもを守るソーシャルアクションを行いました。特に超党派の議連は、朝が早いため運営理事の宇佐神さんの出席をお願いいたしました。

（３）定例委員会

①社会的養護とファミリーホーム編集委員会

若狭委員長中心に、川名さん、前川さん、佐賀さん、伊藤さん、創英社の勅使河原さんの編集で皆さんのお手元に届いたかと思いますが、「社会的養護とファミリーホーム」の Vol.10 が刊行されました。特別企画として、子どもの権利と社会的養護に視点を当て、子どもの権利の父と呼ばれるコルチャック先生に焦点を当てた素晴らしいものでした。また、第 14 回ファミリーホーム全国研究会に岡山大会についても大変詳しく報告が掲載されています。大会実行委員会の皆さんと編集委員会の皆さんのご尽力に感謝いたします。

②事業調査・政策委員会

事業調査・政策委員会では、今年度も竹内委員長、坂本さん、仁井田さんが中心にファミリーホームの実態調査を実施しました。今回の調査では、毎年の基礎調査の他に大規模災害、大学進学等の把握がされています。特に各地区のブロック代表の会議である運営会議で会員の声として「事業継承」についての実態について知りたいとの意見があり、今回は事業継承の項目も入れてあります。またファミリーホームの在り方の今後の方向性についての質問項目もありました。制度化から 11 年のファミリーホームの実態と会員の皆様さんの今後の方向性が示される調査結果になりそうです。調査は、毎年行うことに意味がありますが、努力してくださった委員の方々、お忙しいところ回答に協力してくださった全国のファミリーホームの皆様に感謝いたします。調査を通して今後のより良い養育や運営につなげていきたいと思っています。

③研修委員会

伊藤委員長、委員である宮本さん、荘保さん、鈴木さん、徳田さん、木村さんを中心に、処遇改善のための運営マネジメント研修のほかに、日本財団から助成を頂きアドバンス研修を全国 6 か所で行いました。発達障害の子どもへの理解と対応に関しては、徳田さん、むぎのこの古家さんが講師となり、また児童心理施設での経験を生かし行動化した子どもへの安全な関わりについて山崎さんが講師となり学びを深めました。ファミリーホーム養育がより専門的に子どもを理解し、適切な関わりが取れるための研修で大変質の高い実践的な研修となりました。次年度日本財団からの助成を受け良い研修を、参加方法も含めて企画していますので、ぜひご参加ください。

（４）特別委員会

①役員選出規定検討委員会

前期の選出委員会では、長谷川前副会長中心にご尽力されましたが、決定には至りませんでした。役員選出規定検討委員会では、委員長に会長である北川が仰せつかい、前川さん、宇佐神さん、広報の担当でもある大柳さんと検討いたしました。委員会が後半になりコロナの影響でWEBでしたが、参加できなかった委員の方には、後で説明し了解を得るなどして考えました。スケジュールとしては、今期の総会で会員の皆さんに承認していただきましたら、次回の役員選出から新しい規定に基づき行っていきたいと考えております。

今回の役員選出規定検討委員会では一般社団法人である 330 を超える全国のファミリーホーム協議会であるということを念頭におき、①中立公平な選出方法であること②全国のファミリーホームの意見を反映できる体制③執行部の役員体制がわかりやすいものであること④より良い子どもの養育のためのファミリーホーム協議会であるために率直に意見を言い合いながらも、対立ではなくお互いをリスペクトし合う役員会を形成すること⑤運営が持続可能な運営になること、などを念頭に置きながら案を考えて、本部理事の役員会でも話し合って選出の在り方模索しました。総会での皆さんの意見をお聞きして、次年度以降の新役員選出につなげたいと考えます。

②ファミリーホームの在り方検討会

制度化 11 年がたつファミリーホームの在り方について検討する時期に来ているということで、この検討会を立ち上げました。委員は、協議会の会長と副会長そして学識経験者の川名先生に入っていました。

4 回の検討会では、様々な意見が出る中で、アンケート調査の結果も参考にしつつ①子どもにとっての家庭養育の推進という観点と共に、子どもの数が少なくなった時にも安心して運営できるように 4 人でも運営できるファミリーホーム②5 名 6 名の子どもを養育しているファミリーホームには、新しい加算をつけて手厚い養育ができるファミリーホーム③里親サロンなどを開催し、地域の里親さんの支援ができるファミリーホーム④ショートステイ・一時保護など地域の社会的養育が必要な子どもの子育てをサポートできる機能を別に持っていくような多機能型で拠点型のファミリーホームなど 4 つの柱で方向性が出されました。報告書を皆さんに見ていただいた後、社会的養護の必要な子どもたちが、家庭養護のより良い環境で健やかに育つことを一番に考えて最終報告にしたいと思います。

（５）ファミリーホーム全国研究大会 岡山大会

日本の里親の原点ともいえる桃太郎の物語の発祥の地、岡山において知事も列席していたき、中四国の皆さんが中心となり、養護施設の方々や児相の方々にも協力していただき、とても素晴らしい大会になりました。役員が新体制になったばかりの大会だったため、情報のやり取り急な変更等で実行委員会の方々にはご迷惑おかけしましたが、参加者にとっても子どもにとっても心に残る暖かい会にさせていただきました。本当にありがとうございました。

（６）各種会議

定期総会、役員会 7 回、運営会議 2 回 を開催しました。小松事務局長、元藤事務局次長が会議の準備を素早くしてくださいました。運営会議では、全国各ブロックからの報告があり、ファミリーホームの現状を把握し、今後につなげる会議となりました。全国で皆さんが子どもたちのための頑張っていること、大変さや喜びをみんなで共有いたしました。後半は、コロナの影響で Web 会議での対応となりましたが、それぞれに忌憚なく意見を、ファミリーホームの在り方や協議会のそのものについて各方面からの話し合いとなりました。

その際書記として意見のまとめを若狭さんが担ってください、会計は、前川さんが担ってくださいました。ありがとうございました。

（７）ニュースレター・ファミリーホーム通信

今年度も大分県の大柳さんがタイムリーにニュースレターを発行してくださいました。ファミリーホーム通信も含めて、全国の皆さんに様々な情報提供をわかりやすくしてくださいました。わかりやすいレターが皆さんのところに届いたかと思います。次年度に向けて、素晴らしいニュースをより早く皆さんに届くことが出来るよう、メールでの配信システムを作っていこうと思っています。

（８）終わりに

今年は、10 年間会長を担ったくださったト藏会長の後を引き継ぎ、新体制での船出となりました。慣れない面も多く、会員の皆さんにご迷惑をかけたことも多かったかと思います。そんな中で皆さんに支えられた一年であったと思います。本当にありがとうございました。新体制の中で役員会一同、ファミリーホームが子どもにとってより良いものになっていくように、全国の皆さんの意見をお聞きしながら模索して進んだ一年だったと思います。

後半は、現状引き続き厳しい状況ですが、コロナというこれまでなかった世界的な緊急事態の中私たちは、子どもたちの命を守り、ファミリーホームを守っていかなければなりません。このような状況だからこそ皆で手をつなぎ、力を合わせていきたいと思っています。

今後ともよろしく願いいたします。

～会員に関する報告～

○1号会員について

平成 31 年度初日	入会	退会	復会	令和元年度末
300 ホーム	33	3	1	331 ホーム
平成 30 年度初日	入会	退会	復会	平成 30 年度末
277 ホーム	26	3	1	300 ホーム
平成 29 年度初日	入会	退会	休会	平成 29 年度末
259 ホーム	31	9	2	277 ホーム
平成 28 年度初日	入会	退会	休会	平成 28 年度末
231 ホーム	28	1	2	259 ホーム

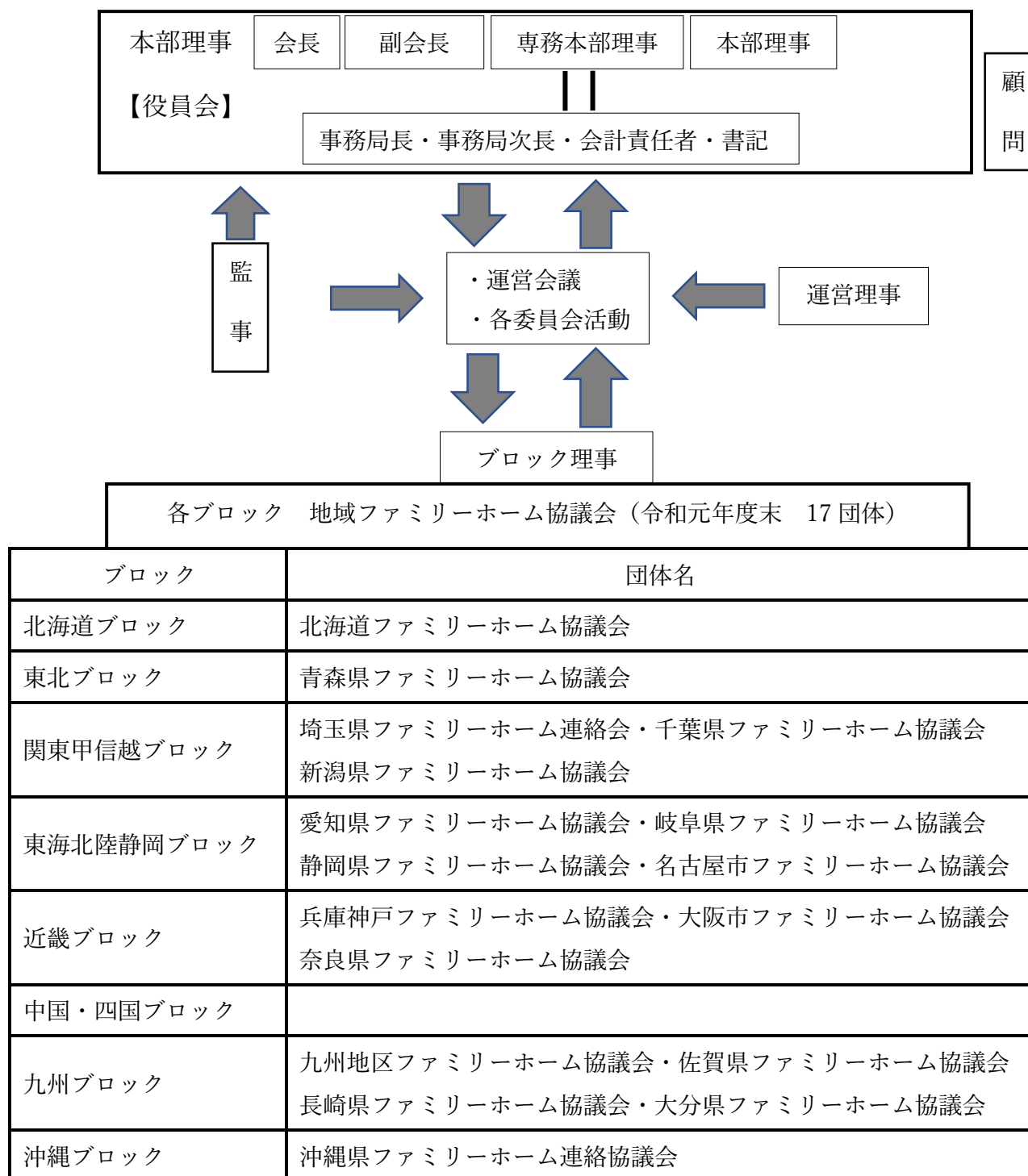
○2号会員について

平成 31 年度初日	入会	退会	令和元年度末
13 名	1	2	12 名
平成 30 年度初日	入会	退会	平成 30 年度末
12 名	1	0	13 名

○3号会員について

平成 31 年度初日	入会	退会	令和元年度末
7 名	0	0	7 名
平成 30 年度初日	入会	退会	平成 30 年度末
7 名	0	0	7 名

～日本ファミリーホーム協議会 組織図～



～ソーシャルアクションに関する報告～

社会保障審議会 児童部会 社会的養育専門委員会			
日付	8月7日	出席者	伊藤
内容	(1)児童虐待防止対策について(2)都道府県社会的養育推進計画について、その他		

里親月間 里親研修講座			
日付	10月3日	出席者	北川・宮本・前川（受付依頼）山崎・山中・平林・黒川
内容	塩崎元大臣基調講演・今考えよう社会的養育ビジョン・里親制度		

自由民主党 「児童の養護と未来を考える議員連盟」 超党派「児童虐待から子どもを守る議員の会合同勉強会」			
日付	4月12日	出席者	前川
内容	「社会的養護の概観と一時保護」について		
日付	6月19日	出席者	前川
内容	「札幌市女児虐待死事件について」		
日付	8月2日	出席者	前川
内容	厚生労働省からの報告		
日付	10月17日	出席者	前川
内容	「子どもの意見を聴き、子どもの権利を擁護する。 ～改正児童福祉法 附則第7条第4項を考える～」		
日付	11月13日	出席者	北川・宇佐神
内容	子どもの権利擁護構築に向けて・子どもコミッショナー		
日付	11月19日	出席者	北川・前川
内容	子ども家庭情報共有システムについて、厚労省と法務省からの報告		
日付	12月5日	出席者	北川・宇佐神
内容	英国におけるソーシャルワーカーの資格と育成		
日付	12月7日	出席者	宇佐神
内容	子どもコミッショナーが子どもの権利擁護に果たす役割		
日付	12月18日	出席者	前川
内容	「都道府県社会的養育推進計画の策定要領」に基づく各自治体の「推進計画」作成状況について		
日付	2月5日	出席者	北川・宇佐神
内容	野田市児童虐待検証報告について		

日付	2月7日	出席者	北川・宇佐神
内容	社会的養護都道府県策定計画の実態について		
日付	2月19日	出席者	宇佐神
内容	中核都市が児相を作るうえでのハードル		
日付	3月6日	出席者	宇佐神
内容	都道府県計画の策定状況		
日付	3月24日	出席者	宇佐神
内容	都道府県計画策定期限の延長に関する緊急要請について 里親等委託率をどう上げるか 知事としての経験から、養育里親として		

子ども家庭養育推進官民協議会			
日付	5月10日	出席者	宮本
内容	子どもの家庭養育推進官民協議会幹事会 1 加盟申請団体の審査について 2 平成30年度事業報告について 3 平成31年度事業計画について 3 ロゴマークを活用した里親制度の普及・啓発について 4 政策提言文案について 5 その他		
日付	5月30日	出席者	北川・宮本
内容	子どもの家庭養育推進官民協議会総会及び講演会 第一部 総会(非公開) 第1号議案～第3号議案について 第二部 講演会及び活動報告 講演会：テーマ「子どものアドボケイトの導入に向けて」 講師 久佐賀 眞理先生(児童養護学園シオン園施設長) 指定発言 佐藤 智洋氏(社会的養護経験者) 加盟団体からの活動報告 三重県、日南市、福岡市、明石市、 (公財)日本財団、(特非)静岡市里親家庭支援センター (公財)全国里親会、(特非)SOS子どもの村 (公財)日本ユニセフ協会 表彰式 フォスタリングマーク制作者 橋口 幸生 氏 岩下 智 氏 厚生労働大臣への政策提言の発表及び提出 内閣官房内閣審議官藤原朋子氏よりコメント・写真撮影		

日付	11月23日	出席者	宮本
内容	<p>令和元年度 「これからの社会的養育を考えるシンポジスト」</p> <p>子どもの家庭養育推進官民協議会 研修会</p> <p>第一部 挨拶・趣旨説明</p> <p>講演</p> <p>「弁護士が児童相談所にいることの意義 ～福岡市の取り組みから～」</p> <p>福岡市子ども総合相談センター子ども緊急支援課長 久保 健二弁護士</p> <p>シンポジウム</p> <p>「フォスタリング機関の整備に向けた官民連携の取り組みについて」</p> <p>ファシリテーター：早稲田大学人間科学部 上鹿渡 和宏教授</p> <p>明石市 明石市子ども局明石子どもセンターさとおや課係長 溝口 和子氏</p> <p>あかし里親センター所長兼公益社団法人家庭養護促進協会事務局長 橋本 明氏</p> <p>高知県 高知県地域福祉部児童家庭課児童福祉担当 主幹 村山 真一氏</p> <p>高知聖園ベビーホーム施設長 武 保恵氏</p> <p>宮城県 宮城県保健福祉部子ども・家庭支援課 主任主査 高橋 学氏</p> <p>みやぎ里親支援センターけやき センター長 ト蔵 康行氏</p> <p>第二部 会員のみのみ</p> <p>① 都道府県社会的養育推進計画・フォスタリング機関に係る情報交換</p> <p>② 各団体の活動状況、社会的養育推進計画、政策提言、フォスタリング機関等についての意見交換</p>		

全国退所児童等支援事業連絡会			
日付	8月6日（火）	出席者	若狭
内容	<p>全国退所児童等支援事業連絡会(第1回) 主催 全国社会福祉協議会</p> <p>(1)令和元年度事業について</p> <p>(2)その他</p>		
日付	9月13日（金）	出席者	宮本
内容	<p>全国退所児童等支援事業連絡会(第2回) 主催 全国社会福祉協議会</p> <p>(1)子どもの自己決定を尊重した就労支援に向けたポイントチェックシートの試行事業（案）について</p> <p>(2)その他</p>		
日付	12月26日（木）	出席者	若狭
内容	<p>全国退所児童等支援事業連絡会(第3回) 主催 全国社会福祉協議会</p> <p>(1)子どもの自己決定を尊重した就労支援に向けたポイントチェックシートの試行状況について</p> <p>(2)全国セミナーの開催について(3)その他</p>		

厚生労働省			
日付	6月17日	出席者	北川・前川・宮本・伊藤・山崎・坂本・仁井田・元藤・若狭・小松
内容	要望書提出		
日付	1月23日	出席者	北川・宮本・若狭・小松
内容	意見交換		

～委員会報告～

○社会的養護とファミリーホーム編集委員会

委員長	若狭 一廣（陽気ぐらしの家 わかさ）
委員	川名 はつ子（早稲田大学教授）
	佐賀 豪（くれたけ法律事務所・弁護士）
	伊藤 龍仁（F H☆マジカル）
	前川 知洋（協議会 副会長兼会計）
	勅使河原 孝浩（創英社）

活動報告

1	日付	4月26日 場所：杉江ホーム（名古屋）
	参加者	勅使河原・若狭・川名・伊藤・佐賀・前川
	内容	編集会議
2	日付	5月31日 場所：日本財団
	参加者	勅使河原・若狭・川名・伊藤・佐賀・前川
	内容	編集会議
3	日付	6月21日 場所：青山生涯学習館
	参加者	勅使河原・若狭・川名・伊藤・佐賀・前川
	内容	編集会議
4	日付	7月19日 場所：日本財団
	参加者	勅使河原・若狭・川名・伊藤・佐賀・前川
	内容	編集会議
5	日付	8月18日～19日 場所：うずまきホーム・アラヤシキ（長野）
	参加者	勅使河原・若狭・川名・伊藤・佐賀・前川
	内容	取材

6	日付	9月20日 場所：日本財団
	参加者	勅使河原・若狭・川名・佐賀・前川
	内容	取材
7	日付	10月11日 場所：陽気ぐらしの家 わかさ
	参加者	勅使河原・若狭・川名・佐賀・前川
	内容	座談会
8	日付	11月15日 場所：陽気ぐらしの家 わかさ
	参加者	勅使河原・若狭・川名・伊藤・佐賀・前川
	内容	編集会議
9	日付	12月9日 場所：陽気ぐらしの家 わかさ
	参加者	勅使河原・若狭・川名・佐賀・前川
	内容	編集会議
10	日付	1月20日 場所：陽気ぐらしの家 わかさ
	参加者	勅使河原・若狭・川名・伊藤・佐賀・前川
	内容	編集会議
11	日付	2月6日 場所：陽気ぐらしの家 わかさ
	参加者	勅使河原・若狭・川名・佐賀・前川
	内容	編集会議

○事業調査・政策委員会

委員長	竹内 透（ガブリエルホーム）
委員	坂本 和弘（ファミリーホーム Our-house）
委員	仁井田 三枝子（ファミリーホームいぶき）

活動報告

1	日付	6月17日(月)
	参加者	竹内・坂本・仁井田
	内容	○アンケート調査 ブロック会議にて 今回で3回目のアンケート調査を行うことになり、事業調査委員会で委員が決まった。今回の調査では、最近の大規模災害や、大学等への進学、措置延長、事業継承、定員、里親支援機関などについて把握するために行う。アンケート内容について今後会員皆様の意見を聞きながら年末には、発送していく。

2	日付	8月7日（水）
	参加者	竹内・坂本・仁井田
	内容	全国研究大会岡山大会にて、アンケート調査票内容について検討。
3	日付	11月18日（月）
	参加者	竹内・坂本・仁井田
	内容	ブロック会議にてアンケート原案について内容の確認。
4	日付	1月23日（木）
	参加者	北川・宮本・小松・若狭・竹内
	内容	日本財団ファミリーホーム制度に関する研究会に参加。アンケート内容について委員の皆様へ助言提案をして頂く。
5	日付	2月15日（土）
	参加者	竹内他
	内容	アンケート調査票を会員321通印刷、ヤマト運輸で発送（2通手渡し）。 3月15日締め切り。

○研修委員会

	氏名	所属
委員長	伊藤 貴啓	名古屋芸術大学
メンバー	宮本 昇	ファミリーホームひまわり
	荘保 共子	こどもの里ファミリーホーム
	鈴木 二光代	慈泉寮
	徳田 絵美	わたしん家
	木村 孝禅	子どもの家きむら
オブザーバー	竹内 透	ガブリエルホーム

活動報告

1	日付	5月20日（月） 場所：日本財団
	参加者	伊藤・宮本
	内容	第1回研修委員会を開催。 今年度の研修委員の選出と運営・マネジメント研修及びアドバンス編について検討した。

2	日付	8月8日（木）場所：ホテルグランヴィア岡山
	参加者	伊藤・宮本・荘保・鈴木・徳田・木村・竹内
	内容	第2回研修委員会を開催。 今年度の研修委員の確認と運営・マネジメント研修及びアドバンス編の日程の確認・役割分担等について打ち合わせを行う。
3	日付	9月17日（火）場所：日本財団
	参加者	伊藤・宮本・鈴木・木村・竹内
	内容	①運営・マネジメント研修を開催した。受講者は26名、参加ファミリーホームは23（延べ24）ホームであった。②第3回研修委員会を開催し、9月30日札幌で開催する運営・マネジメント研修について打ち合わせを行った。
4	日付	9月29日（日）場所：北海道札幌市 麦の子会
	参加者	伊藤・宮本・荘保・鈴木・徳田・木村・竹内
	内容	第4回研修委員会を開催。次年度の研修事業について検討を行った。 また、次年度も継続事業として日本財団に助成事業申請することを確認した。
5	日付	9月30日（月）場所：北海道札幌市
	参加者	伊藤・宮本・荘保・鈴木・徳田・木村・竹内
	内容	第1回ファミリーホーム研修アドバンス編を開催した。 受講者は23名、参加ホームは8ホームであった。
6	日付	10月28日（月）場所：岐阜県羽島市
	参加者	伊藤・宮本・荘保・鈴木・徳田・木村
	内容	第2回ファミリーホーム研修アドバンス編を開催した。 受講者は20名、参加ファミリーホームは16ホームであった。
7	日付	11月25日（月）場所：福島県郡山市
	参加者	伊藤・宮本
	内容	第3回ファミリーホーム研修アドバンス編を開催した。 受講者は13名、参加ファミリーホームは8ホームであった。
8	日付	12月23日（月）場所：鳥取県米子市
	参加者	伊藤・宮本
	内容	第4回ファミリーホーム研修アドバンス編を開催した。 受講者は6名、参加ファミリーホームは4ホームであった。
9	日付	1月27日（月）場所：大阪府大阪市
	参加者	伊藤・宮本・荘保・木村
	内容	第5回ファミリーホーム研修アドバンス編を開催した。 受講者は25名、参加ファミリーホームは17ホームであった。

10	日付	2月24日（月）場所：沖縄県那覇市
	参加者	伊藤・宮本・荘保・徳田
	内容	①第6回ファミリーホーム研修アドバンス編を開催した。 受講者は9名、参加ホームは7ホームであった。 ②第5回研修委員会を開催し、今年度の研修についての総括と次年度の研修事業について検討を行った。 2019年度 運営・マネジメント研修 受講者26名、参加ファミリーホーム23（延べ24）ホーム 2019年度ファミリーホーム研修アドバンス編 受講者96名（再受講者1名を含む）、参加ファミリーホーム60ホーム

○役員選出規定検討委員会

委員長	北川 聡子（社会福祉法人 麦の子会 ベーテルホーム）
委員	前川 知洋（ファミリーホーム上野）
	宇佐神 望（フォスターハウスホサナ）
	大柳 弘幸（大柳ホーム）

活動報告

1	日付	3月9日（月）
	参加者	北川、前川、大柳、宇佐神（後に説明承認）
	内容	2021年度の役員会改選のため一般社団法人として、①中立公平に選出できること②協議会の運営が持続性のある安定したことが出来る。を柱に検討した。（その後2回の本部理事会でも検討）

○ファミリーホームの在り方検討会

委員長	北川 聡子(社会福祉法人 麦の子会 ベーテルホーム)
委員	宮本 昇(ファミリーホームひまわり)
	前川 知洋(ファミリーホーム上野)
	伊藤 貴啓(名古屋芸術大学)
	山崎 浩(山崎ホーム)
	小松 拓海(ワNZハウス)
	川名 はつ子(早稲田大学里親研究会)

活動報告

1	日付	9月9日 場所：日本財団
	参加者	北川・宮本・前川・伊藤・山崎・川名・小松
	内容	ファミリーホーム制度の経過確認、子どもの権利を守るファミリーホームとは？
2	日付	11月18日 場所：日本財団
	参加者	北川・宮本・伊藤・山崎・川名・小松
	内容	家庭養育の推進、地域のニーズに答えていくファミリーホームについて
3	日付	1月27日 場所：TKP 新大阪ビジネスセンター
	参加者	北川・宮本・伊藤・山崎・川名・小松
	内容	家庭養育の推進、地域のニーズに答えていくファミリーホームの具体化
4	日付	3月9日 場所：web 会議
	参加者	北川・前川・山崎・小松
	内容	委員会取りまとめ内容について

～会議報告～

○ 定時総会

日付・場所	令和元年 5 月 20 日（月）13 時～ 場所：公益財団法人 日本財団 会議室
内容	<p>定足数 会員数 325 委任状 130 名、参加者 43 名、計 173 名（過半数 163 名）で総会成立</p> <p>ト蔵会長を議長として選出</p> <p>第 1 号議案 平成 30 年度事業報告が小松事務局長より提案され、承認 第 2 号議案 平成 30 年度決算報告が前川副会長兼会計より提案され、審議において、弔慰金規定、弔慰金請求手順を明示するようにと要望が出され、前川副会長兼会計が了解と回答し、承認 第 3 号議案 監査報告が大柳監事、村田監事より提案され、承認 第 4 号議案 役員選出が小松事務局長より映像で提案され、承認 第 5 号議案 令和元年度事業計画が小松事務局長より提案され、承認 第 6 号議案 令和元年度予算が前川副会長兼会計より提案され、承認 議長解任</p>

○役員会報告

1	日付	4 月 4 日 場所：青山生涯学習館
	参加者	ト蔵・長谷川・鈴木・北川・前川・宮本・伊藤・山崎・宇佐神 坂本・仁井田・元藤・若狭・小松
	内容	事業報告、決算報告、事業計画、予算等について
2	日付	5 月 20 日 場所：日本財団
	参加者	ト蔵・長谷川・北川・前川・宮本・伊藤・山崎・坂本・仁井田 元藤・若狭・小松
	内容	総会の議事・進行の確認
3	日付	6 月 12 日 場所：web 会議
	参加者	北川・前川・宮本・伊藤・山崎・坂本・仁井田・元藤・若狭・小松
	内容	運営会議に向けての打ち合わせ、要望書等について
4	日付	6 月 17 日 場所：日本財団
	参加者	北川・前川・宮本・伊藤・山崎・坂本・仁井田・元藤・若狭・小松
	内容	運営会議、要望書の最終確認

5	日付	9月9日 場所：日本財団
	参加者	北川・宮本・山崎・坂本・仁井田・元藤・若狭・小松
	内容	協議会運営、来年度の予定について等
6	日付	11月5日 場所：web 会議
	参加者	北川・宮本・伊藤・山崎・仁井田・元藤・若狭・小松
	内容	協議会運営、運営会議について
7	日付	3月17日 場所：web 会議
	参加者	北川・前川・伊藤・山崎・坂本・仁井田・元藤・若狭・小松
	内容	来年度の運営、新型コロナの対応について

○運営会議

日付/場所	6月17日 日本財団 会議室
出席者	(役員)北川・宮本・前川・伊藤・山崎・坂本・仁井田・元藤・小松 (ブロック理事) ○北海道→中兼・竹内 ○東北→幕田 ○関東甲信越→石川 ○東海北陸静岡→杉山 裕・杉山英子 ○近畿→橋本・野口 ○中国四国→安東・合田 ○九州→牧山・富永 ○沖縄→仲松 (運営理事)宇佐神・川崎・徳永 (監事)大柳・北川
内容	* 会長挨拶 ①行政説明②事務局より③各ブロック活動報告④各委員会活動報告 ⑤第14回ファミリーホーム全国研究大会 岡山 進捗状況の報告 ⑥第15回ファミリーホーム全国研究大会 沖縄について ⑦その他、意見交換、連絡事項
日付/場所	11月18日 日本財団 会議室
出席者	(役員)北川・宮本・前川・伊藤・山崎・坂本・仁井田・元藤・小松 (ブロック理事) ○北海道→中兼・竹内 ○東北→幕田 ○関東甲信越→石川 ○東海北陸静岡→杉山 ○近畿→野口 ○中国四国→安東 ○九州→牧山・富永 ○沖縄→仲松 (運営理事) 宇佐神・鈴木・川崎 (監事) 大柳・北川
内容	会長挨拶 ①行政説明 (厚生労働省子ども家庭局家庭福祉課長 成松英範様) ②事務局報告③各ブロック理事よりブロック活動報告④各委員会活動報告 ⑤第14回全国研究大会 岡山大会の報告 ⑥第15回全国研究大会 沖縄大会の進捗状況 ⑦ブロック理事、運営理事、監事との意見交換 ⑧その他

～第14回ファミリーホーム全国研究大会 岡山大会報告～

日付	8月7日（水）～8日（木）会場：ホテルグランヴィア岡山
参加者	大人177名（会員149名）・子ども82名 総数259名
テーマ	ファミリーホームの新たな展開を目指して～原点回帰～
<p style="text-align: center;">～8月7日～</p> <p>(1)行政説明：厚生労働省子ども家庭局家庭福祉課 児童福祉専門官 島 玲志様 (2)中央情勢報告：日本ファミリーホーム協議会 会長 北川聡子 (3)基調講演：「発達障害の正しい理解」～子どもたちを受け止めるために～ 川崎医療福祉大学 子ども医療福祉学部 子ども医療福祉学科 講師 重松孝治様</p> <p style="text-align: center;">～8月8日～</p> <p>分科会 第1分科会：養育に良い環境について見つめなおそう 第2分科会：「ちょっと困っています」をみんなで考えよう！ 第3分科会：これからのファミリーホームの新たな展開について</p>	

～事務局報告～事務局会議&発送作業

1	日付	5月7日 場所：ファミリーホーム上野
	参加者	前川・宮本・元藤・小松
	内容	事務局体制の確認。総会準備のため各種資料の発送作業等
2	日付	7月16日 場所：ワンズハウス
	参加者	小松・ボランティア3名
	内容	会員のしおり、会報誌発送作業。
3	日付	10月17日 場所：ワンズハウス
	参加者	小松・ボランティア3名
	内容	会報誌発送作業
4	日付	3月11日 場所：ファミリーホーム上野
	参加者	前川・元藤
	内容	会費&保険案内の発送作業等

○ファミリーホーム通信（編集担当：大柳弘幸）

2019 年 7 月号	・ ト蔵前会長の 10 年回想記 ・ 厚労省への要望書提出 ・ 第 1 回運営会議開催など
2019 年 10 月号	・ 第 14 回ファミリーホーム全国研究大会 岡山 報告 ・ 新役員紹介など

○ニュースレター（編集担当：大柳弘幸）

	主な内容
10 号	高校生の通学費について
11 号	来年度からの高等教育無償化について
12 号	児童虐待防止対策について
13 号	総会開催。新役員決定。
14 号	しつけ名目の体罰禁止について
15 号	虐待死事件の検証
16 号	運営マネジメント研修・アドバンス研修について
17 号	社会的養育推進計画に関して
18 号	第 14 回ファミリーホーム全国研究大会岡山 開催！
19 号	特別育成費、冷暖房費について
20 号	委託児童のプレミアム商品券について
21 号	ファミリーホームのこれから。について
22 号	特別育成費の詳細について
23 号	11/18 運営会議報告
24 号	各ブロック活動の報告
25 号	新年のご挨拶、令和 2 年度家庭福祉対策予算案について
26 号	都道府県社会的養育推進計画について
27 号	新型コロナウイルスに関して

～ファミリーホーム賠償責任保険についての報告～

- ・ 団体保険契約者 日本ファミリーホーム協議会
- ・ 契約保険会社 損害保険ジャパン日本興亜株式会社
- ・ 保険の種類

施設賠償責任保険	対人対物事故共通 1 事故 3 億円
生産物賠償責任保険	対人対物事故共通期間中 3 億円
個人賠償責任保険	賠償責任保険：期間中 1 億円

- ・ 保険納入金額 296 ホーム × 13000 円 = 3,848,000 円

- ・ 令和元年度保険執行実績 2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日

保険種類	事故件数	保険適応件数	支払額
施設賠償保険	6 件	3 件	523,346 円
生産物賠償責任保険	0 件	0 件	0 円
個人賠償責任保険 (傷害総合保険)	5 件	5 件	227,000 円
合計	11 件	8 件	750,346 円

- ・ 令和元年度保険請求申出謝絶件数 3 件

①	委託児童がファミリーホーム内の駐車車両に石を投げ、被害を与えたもの
②	委託児童がファミリーホーム内のベッドを汚損させたもの
③	委託児童が介助補助者にすべり台から突っ込み、転倒させたもの

・保険適応事案 8 件

①		
使用した保険の種類	賠償対象	加害者/学年・年齢
施設賠償責任	同じ学校の生徒	小学生
処理に要した期間/日数	賠償額/円	
	13,132	
集団登校中に委託児童がふざけて友人を押したところ転倒し、相手方が顔面やひざに擦り傷を負ったもの		
②		
使用した保険の種類	賠償対象	加害者/学年・年齢
施設賠償責任	第三者	
処理に要した期間/日数	賠償額/円	
	4,214	
観光客の使用している三脚に、委託児童がぶつかってしまい、三脚を破損させたもの。		
③		
使用した保険の種類	賠償対象	加害者/学年・年齢
施設賠償責任	近隣住人	
処理に要した期間/日数	賠償額/円	
	506,000	
他人宅で委託児童が部屋の壁にボールペンで落書きをしてしまったもの。		
④		
使用した保険の種類	賠償対象	加害者/学年・年齢
個人賠償責任（傷害総合）	同級生	12 歳以上児童
処理に要した期間/日数	賠償額/円	
	現在対応中	
委託児童が学校で遊んでいる際、同級生にぶつかり相手の右太腿を踏みつけてしまい骨折させてしまったもの。		
⑤		
使用した保険の種類	賠償対象	加害者/学年・年齢
個人賠償責任（傷害総合）	近隣宅	12 歳以上児童
処理に要した期間/日数	賠償額/円	
	216,000	
訪問先のドアを破損させてしまったもの。		

⑥		
使用した保険の種類	賠償対象	加害者/学年・年齢
個人賠償責任（傷害総合）	近隣宅	12 歳以上児童
処理に要した期間/日数	賠償額/円	
	11,000	
田んぼで野球中に打ったボールが近くの作業小屋にあたり窓ガラスを破損させてしまった。		
⑦		
使用した保険の種類	賠償対象	加害者/学年・年齢
個人賠償責任（傷害総合）	第三者	12 歳以上児童
処理に要した期間/日数	賠償額/円	
	対応中	
自転車で走行中、交差点を横切ろうとしたところ自動車が急停車したためブレーキが間に合わず、傷つけてしまったもの。		
⑧		
使用した保険の種類	賠償対象	加害者/学年・年齢
個人賠償責任（傷害総合）	学校	12 歳以上児童
処理に要した期間/日数	賠償額/円	
	対応中	
学校で加湿器を落としてしまい、破損させてしまったもの。		

～ブロック活動報告～

○北海道ブロック 報告者：中兼正次、竹内 透

活動内容	フォスタリング研修会
活動日時	H31 年 4 月 16 日（火）
活動場所	札幌市 かでる 27
参加者	11 ホーム、北海道、札幌市、里親他 計 31 名
内容	講演:NPO 法人 静岡市里親家庭支援センター 理事長 眞子義秋 「包括的な里親支援のあり方について」

活動内容	北海道ファミリーホーム研究大会 in ニセコ
活動日時	R1 年 7 月 13 日（土）～14 日（日）
活動場所	ヒルトンニセコビレッジ 虻田郡ニセコ町東山温泉
参加者	11 ホーム、里親、厚労省、北海道他 計 116 名
内容	13 日〈行政説明〉北海道子ども未来推進局自立支援担当課長 齊藤順二 講演「北海道社会的養育推進計画について」 〈基調講演〉厚生労働省関東信越厚生局健康福祉部長 長田浩志 講演「子どもの権利擁護に関する取組の現状と展望について」 〈グループワーク〉高齢児の養育について 幼児、低学年の養育について 14 日〈社会的養護で育った当事者座談会〉～3 名の当事者のメッセージ 当事者男性 20 歳 当事者女性 20 歳 当事者男性 24 歳 〈報告〉「アメリカの里親支援について」 社会福祉法人麦の子会 総合施設長 北川聡子 統括部長 古家好恵

活動内容	ファミリーホーム相互訪問事業
活動日時	R1 年 9 月 28 日（土）、29 日（日）
活動場所	恵庭市ファミリーホーム三神家、江別市ファミリーホームフリフリ
参加者	5 ホーム 計 10 名
内容	昨年度地震の関係で中止になり今年度開催できた。2 日間に渡り 2 ホームに訪問し、子どもの様子や暮らしの工夫などお聞きして大変参考になった。

〈その他の活動・研修〉

- 1)総会 H31年4月16日(火) 参加者:10 ホーム17名
- 2)役員会 H31年4月16日、R2年2月6日
- 3)トドックフードバンク事業 毎月1回 20 ホーム参加
- 4)道新花火大会招待要請活動 R1年7月 札幌市豊平川花火大会
- 5)プロ野球観戦チケット提供(北海道日本ハム戦) R1年6月~7月全4試合 JA共済連
- 6)アドバンス研修 R1年9月30日 日本ファミリーホーム協議会主催

フォスタリング研修会 31.4.16



ファミリーホーム研究大会ニセコ大会 1.7.13・14



相互訪問 1.9.28・29



○東北ブロック 報告者：高木 美幸

活動内容	ファミリーホーム東北ブロック会議
活動日時	令和元年7月18日（木）
活動場所	仙台一番町ホール会議室
参加者	15ホーム19名
内容	日本ファミリーホーム協議会運営会議の報告 ブロック活動について 意見交換・近況報告など



活動内容	ファミリーホーム東北ブロック研修会 （コロナウイルス感染予防のため中止）
活動日時	令和2年3月28日（土）
活動場所	東北福祉大学 仙台駅東口キャンパス
参加者	
内容	「家庭養護の質を高めていくために」 講師：相澤仁氏 みやぎ里親支援センターけやき主催 近況報告・意見交換

○関東甲信越ブロック

報告者 ファミリーホームはなの家 石川浩子/こころの家 菊池 隆

活動内容	ブロック研修
活動日時	令和2年1月17日
活動場所	道の駅うつのみやろまんちっく村第一研修室
参加者	FH12 ホーム 15 名、里親支援専門相談員 3 名、里親 1 名、 栃木県内児童相談所 3 名、助言者 1 名
内容	<p>講演「ファミリーホームにおける養育者のメンタルヘルス」 （講師：福田雅章氏（社会福祉法人養徳園総合施設長）） 講演後グループ討議</p>    

活動内容	各県代表打ち合わせ会
活動日時	令和元年7月2日
活動場所	栃木県宇都宮市はなの家
参加者	参加人数 16 名
内容	<p>日本ファミリーホーム協議会運営会議の報告 各都県の活動状況について。ブロック活動について 意見交換・連絡事項等</p>

○東海北陸静岡ブロック

報告者：ファミリーホーム グレースガーデン杉山 裕

活動内容	東海北陸静岡ブロック 研修・交流会
活動日時	平成 31 年 8 月 25 日（日）～ 26 日（月）
活動場所	静岡県浜松市舘山寺温泉 ウェルシーズン浜名湖
参加者	15 ファミリーホーム 75 名 里親・児童 12 名 分科会アドバイザー 6 名 子供ミニストリースタッフ 8 名
内容	研修会 テーマ「より良い養育をめざして、ともに育てよう」 基調講演 講師 NPO 法人「ゆめ・まち・ねっと」 渡部 達也氏 「つながりつづける～心おれかけた君と」 分科会・子供ミニストリー バルーンアート YOHEI によるショー



活動内容	東海北陸静岡ブロック 総会
活動日時	令和 2 年 1 月 16 日（木）
活動場所	愛知県女性総合センター（ウイル愛知）
参加者	21 ファミリーホーム 22 名・FH 会員 1 名
内容	2019 年度研修・交流会報告 2021 年度全国大会に関する意見交換、実行委員会設立について 中部ブロックライングループ作成等

○近畿ブロック 報告者： 松本昌樹

活動内容	平成 31 年度 総会・研修会
活動日時	平成 31 年 4 月 16 日（火）
活動場所	大阪市子ども相談センター
参加者	24 ホーム・27 名
内容	<p>① 開会式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブロック長挨拶 ・来賓挨拶（大阪市子ども相談センター所長 岸本浩子 様） ・来賓紹介（相談支援担当課長 尾瀬富士男 様） （家庭養育促進担当課長代理 田村美加 様） <p>② 平成 30 年度定期総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役員選出 ・平成 30 年度 事業報告・会計報告 ・会則についての説明 ・平成 31 年度 事業計画・会計予算 <p>③ 研修会「養育にいかすアタッチメント — 児童養護施設 入舟寮での実践をまじえて」</p> <p>講師：久保 樹里 様 （大阪歯科大学 医療保健学部 口腔保健学科 講師）</p> <p>登壇者：西出 誠 様（児童養護施設 入舟寮 主任保育士） 松木あゆみ 様（児童養護施設 入舟寮 里親専門相談員）</p> <p>④ 講演を受けての質疑応答</p>



活動内容	近畿ブロック定例会
活動日時	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年 6 月 21 日（金） ・令和元年 9 月 17 日（火） ・令和元年 11 月 22 日（金） ・令和 2 年 1 月 30 日（木） ・令和 2 年 3 月 3 日（火） 予定は、定例会を中止しました。
活動場所	サクラ ファミリア（大阪市内）
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・近畿ブロック各ホーム養育者・従事者 ・里親専門相談員・関係機関 （毎回 20～30 人の参加がありました）
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各会検討事項の話し合い・事務連絡・近況報告・相談などを行っています。 ・令和元 9 月 17 日には日本ファミリーホーム協議会専務理事副会長の前川氏を交えて、「ファミリーホーム賠償責任保険」についての勉強会を行いました。 ・各府県市単位でファミリーホーム協議会を立ち上げたり、それぞれで研修会や交流会を行なったりもしています。

○中国・四国ブロック 報告者：坂本 和弘

活動内容	第 14 回ファミリーホーム全国大会・岡山大会
活動日時	2019 年 8 月 7 日(水)～8 日(木)
活動場所	ホテルグランヴィア岡山
参加者	日本ファミリーホーム協議会会員・その他関係者
内容	<p>全国大会が行われたので、ブロックの活動としてはこの内容になります。</p> <p>本部役員の皆様、関係役員の皆様の協力で大変良い全国大会になりました。</p> <p>ありがとうございました。</p>

○九州ブロック 報告者：冨永 正輝

活動内容	各県代表者会議
活動日時	令和元年 7 月 9 日(木)
活動場所	福岡大博多ビル会議室
参加者	各県代表者
内容	平成 30 年度会計監査報告・令和元年度九州ブロック研修会の打ち合わせ

活動内容	九州ブロック研修会
活動日時	令和元年 11 月 11 日（月）
活動場所	勤労者交流センター7階 会議室（鹿児島県鹿児島市）
参加者	各県 FH 養育者・補助者 38 名、鹿児島県里親会 9 名 鹿児島県里親支援専門相談員 14 名 児童養護施設・乳児院職員 5 名 鹿児島県県議会議員 1 名 鹿児島県くらし保健福祉部子ども家庭課 3 名 鹿児島県中央児童相談所 5 名 鹿児島県児童養護協議会 1 名
内 容	○基調講演「子どもを守るための法と権利の考え方～子どもをめぐる法律を 社会的養育の現場に活かすために～」 講師：えがりて法律事務所 弁護士 鴨志田 祐美 氏 ○分科会 [第 1 分科会] 子どもの権利と法律 [第 2 分科会] 自立に向けての取り組み [第 3 分科会] フリートーク



○沖縄ブロック 報告者：神谷眞行

活動日時	定例会 4月25日（木）10：00～12：00
活動場所	沖縄県コザ児童相談所会議室
参加者	19人
内容	コザ児相所長挨拶・講話 職員紹介

活動日時	講演会 ここサポとの共同開催 6月27日（木）10：00～12：00
活動場所	児童養護施設 愛隣園 会議室
参加者	F H6人、里親8人、ここサポ関係者
内容	「ワクワクする子育て」講師：砂川純子氏

活動日時	定例会 7月18日（木）14：00～16：00
活動場所	ここサポさとおや事務所
参加者	F H10人
内容	岡山大会視察について、ここサポ関係者への要請

活動日時	定例会 9月12日（木）10：00～12：00
活動場所	ここサポさとおや事務所
参加者	F H10人、児相CW
内容	自立支援計画書の作成について

活動日時	定例会 11月21日（木）10：00～12：00
活動場所	ここサポさとおや事務所
参加者	F H6人、里親会会長、副会長2人
内容	全国大会実行委員会構成メンバーについて

活動日時	定例会 12月12日（木）10：00～12：00
活動場所	ここサポさとおや事務所
参加者	F H7人、里親会会長、副会長2人、県児童養護協議会会長
内容	全国大会実行委員会構成メンバーについて

活動日時	定例会 1月21日（木）10：00～12：00
活動場所	沖縄県総合福祉センター会議室
参加者	F H7人、里親会会長、副会長2人、県児童養護協議会会長、 県社会福祉協議会施設団体福祉部部長
内容	実行委員の役割、日程について検討

活動日時	定例会 2月20日(木) 10:00~12:00
活動場所	沖縄県総合福祉センター会議室
参加者	F H8人、里親会会長、副会長2人、県児童養護協議会会長、 県社会福祉協議会施設団体福祉部部長
内容	実行委員の役割、日程について再検討

活動日時	定例会 2月27日(木) 10:00~12:00
活動場所	名護市21世紀の森会議室
参加者	F H6人、里親6人、ここサポ関係者
内容	「子どもの理解とかかわり方」講師：コザ児童相談所長 後野哲彦氏 1、しつけと虐待の区別は明確でない。2、体罰に代わるしつけの方法 3、虐待をする親もが益体を受けてきた世代。 4、教育虐待「あなたのため」という大義名分のもと、子どもの需要限度を 超えてまで行われる過度なしつけ。

